

予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名	新	感染症対策強化事業費（検視等）
------------	----------	------------------------

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

警察本部 刑事部 捜査第一課 電話番号：058-271-2424（内4111）

E-mail： c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 16,183 千円（現計予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	16,183	0	0	0	0	0	0	0	16,183
決定額	16,183	16,183	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

警察の行う検視等業務における感染症対策を充実させる。

（2）事業内容

県下全体の警察官に対する感染症対策にかかる必要物品の整備

（3）県負担・補助率の考え方

県内で発生する検視等業務に伴う必要経費であり、県負担は妥当である。

（4）類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	15,845	感染症対策用消耗品
委託料	338	特別管理産業廃棄処理委託料
合計	16,183	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

社会・経済の変化を反映した新たな犯罪への対策を強化する。

○新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

第2章-I-1 マスク・消毒液等の確保

自衛隊・警察・収容施設における新型コロナウイルス感染症対策の強化（防衛省、警察庁、法務省）

(2) 国・他県の状況

内閣府は、令和2年4月7日に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を閣議決定している。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続く状況であれば、本施策の運用状況を見ながら増強整備等を検討する可能性がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県民の生命・身体及び財産の保護を責務とする警察活動を維持するための施策であり、県が主体となることは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

『安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり』に資するため、新型コロナウイルス感染症という特殊事情により必要となった予算を確保し客観的証拠に基づく適正捜査の推進、犯罪死の見逃しの絶無を強力に推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
				(前々年度末時点)		
死体取扱体数	(H)	2,497 体 (H30)	2,398 体 (R1)	2,377 体 (R2)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら事件捜査を推進するのに必要となる経費であり、目標・達成率を指標として示すことは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	適切な遺体取扱いを推進していくため、感染防止対策に必要な資機材を整備する必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 死因不明の検視対象者等に対する検視業務において、感染防止対策に必要な装備を整備していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、今後必要な資機材について検討していく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	

